

平成 25 年 12 月 28 日

NPO 法人瀬田漕艇倶楽部

マシンローイング大会近畿ブロック実行委員長

内田 太二

海外選手招致・合宿の展望について

この度は、デンマーク代表選手の瀬田川合宿に関して、興味を持っていただき、またエルゴ大会に多数ご参加いただきありがとうございます。彼らを招致する事になったきっかけは、エルゴ大会に参加された方々にとって、本大会が魅力的で意味のあるものにしたいの思いからでした。今回はエルゴ大会だけでなく、普段の練習の様子を見たり、彼らと乗艇で並べたり、交歓会等で交流を深めていただく事も新しい取り組みとして始めさせていただきました。

海外選手を招致していく事は、今後の継続事業として取り扱い、毎年海外の選手が集まる場を作っていきたいと思っています。日本代表にならないと海外選手となかなか交流することができない日本ですが、このような場を設ける事によって、若い世代が海外のトップレベルを身近に感じる事ができるようになると考えています。海外選手を直接見るだけで選手が強くなるわけではありませんが、出来るだけ早い時期から、直に世界のトップレベルを知る事は大切だと考えています。

「海外のトップ選手がシーズンオフ期間、日本で合宿を行っている」毎年継続的に海外選手が日本で面白そうな合宿している事を、日本だけでなく海外にも周知していく事によって、それが呼び水となり、アジア圏そして強豪国の選手も日本に目を向けるようになると考えます。2020年東京オリンピック、それが念頭にあるならば、日本で一度合宿をしてみようとするのは、自然ではないでしょうか。海外選手を受け入れる体制を早いタイミングから整えておく事で、より多くのナショナルチームが集まってくる。受け入れ体制が整っている環境で、彼らが日本で非常によいトレーニングを積む事ができれば、2020年以降も日本で合宿する国があると思います。海外選手と交流する機会が少ない日本ですが、それを逆手に彼ら呼び込める環境を整えていく事で、打開していきたいと思っています。

今回このような事業を展開するにあたり、関係者の方々や新たに支援していただいた方々のおかげで、ここまで辿り着くことができました。今後も乗り越えなくてはならない事は多数ありますが、多くの方々の力をお借りしながら、皆さんと一緒になって、日本のボート界からオリンピックで金メダルを取る選手が出てくるような支援を継続して行っていければと思っています。今後も何卒よろしく願いいたします。